

監督◆インタビュー

監督

ランコ ポポヴィッチ

RANKO POPOVIC

プロフィールは
こちらをクリック!

--いよいよ次の試合がホーム最終戦となります。どんな試合を見せたいと思っていますか。

「個々人の責任感に伴うものですが、躍動感のあるサッカーをお見せしたいと思います。我々がここまで積み上げてきたものをお見せします」

--16日の練習には数多くのサポーターが三輪緑山ベースに詰めかけました。そうしたサポーターの光景を見て感じたことは?

「サポーターの皆様を支えていただくことで我々の仕事は成立しているので、皆様に親近感を覚えていただくのは大切なことです。それがクラブの未来に繋がりますし、ゼルビアを愛する気持ちも強くなります。感情的や情熱的な部分があってこそフットボールです。日本は遠慮することが尊重される文化の国ですが、チームに対する感情や情熱を爆発させることは遠慮しなくても良いですよ。それがポジティブなエネルギーに繋がっていきますから」

--甲府の印象は?

「順位表では下にいますが、カップ戦で優勝する力やクオリティーを持ったチームです。ただホーム最終戦ですから、今まで通り、どんな相手でも自分たちの力を発揮していくこと。サッカーに対する情熱を持って試合に臨むこと。そして積み上げてきたことを出しきるエネルギーを持って戦いたいと思います。甲府が展開しているサッカーに関して、準決勝の鹿島戦では無失点に抑えまして、堅いチームという印象も持っています。チームとしての規律もあります。またセットプレーを活かすしたたかさもあります。経験豊富な選手もいることで勝負どころも分かっているチームです」

--甲府戦に向けては長めの準備期間がありました。重点的に取り組んできたことは?

「今までやってきたこともそうですし、勝ちたい気持ちが先走ってしまい、やるべきことが疎かになっていた部分もあったので、うまくいっていなかったことに修正を加えました。また約束事の整理や空回りしていたことの見直しにも取り組んできました。距離感、バランス、チームとしてのオーガナイズも整えてきました。チーム内で意思統一をして試合に臨めるように準備してきました」

--集大成を見せる自信は深まりましたか?

「集大成を見せる準備は整っています。あとは肩に力を入れ過ぎずに自分たちの集大成と言えるようなゲームを展開すること。その上で勝利を掴み取りたいと強く思っています」

FC MACHIDA ZELVIA Official MATCHDAY PROGRAM DIGITAL



FAN FESTA

Special Thanks
November 6, 2022

